令和5年度

よく学び力をつける子　友達となかよくできる子　はつらつと体をきたえる子

とよはる

みんな友達　豊かな心　あふれる意欲

http://schit.net/kasukabe/estoyoharu/

春日部市立豊春小学校
学校だより 3月号
児童数 546人
春日部市道順川戸 37－1
令和6年3月1日

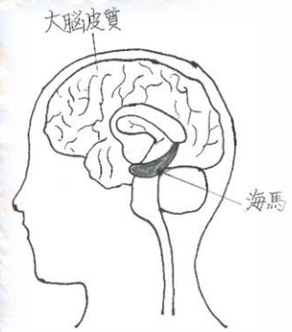
いよいよ３月、まとめの ACTION をしましょう！

校長　松原秀樹

いよいよ３月を迎えました。３月の和風月名は「弥生（やよい）」。穏やかな陽気に草木がますます生い茂るという意味です。３月３日は桃の節句、５日は啓蟄（けいちつ）と、春を感じる行事や言葉に、虫たちだけでなく、私たちも暖かさを感じて活発になります。

校長室には毎日、いろいろな学年の児童が訪れます。２年生はかけ算九九の校長検定を、６年生は校長と会食、面談を行っています。そして、有名な詩文の暗唱に挑戦する全校児童。今月は百人一首２首を選びました。私にとってどれも至福のひとときです。

暗唱に挑戦する児童に聞くと「すぐに覚えられる」という人が何人かいます。私は「すごいなあ」と感心してしまいます。私自身、字面を見て覚えるのはとても苦手です。ただ、教師となって児童が唱える声を聞くことで覚えるのが得意になりました。



何かを覚えるとき、頭を使います。専門的に言うと、脳の中の海馬（かいば）が働きます。海馬は太さ約 1cm、長さ約 5cm の脳の一部位で、耳の奥にあります。私たちの脳はすべての情報を記憶しているわけではありません。海馬が必要と判断した情報だけが、脳の中の大脳皮質と呼ばれる場所に送られ、長期間保存されます。では、海馬は何を基準に判断を下しているのでしょうか？なんと、それは「生きていくために不可欠かどうか」なのです。ですから、食べ物や危険に関係する情報が何よりも優先されます。しかし、生死に関わらない情報でも、何度も繰り返し脳に送り続けると、海馬は「これは生きるのに必要な情報に違いない」と勘違いしてくれます。繰り返すことで海馬に重要な情報と思わせるのがポイントです。へこたれずに繰り返せば、脳は知識を記憶にとどめてくれます。「勉強は反復」が大切なのです。

また、興味・関心を持つこと、好奇心旺盛なことも記憶を高めるのに有効のようです。初めてのものに出会ったり、未知の場所へ来たりしたとき、わくわくしませんか。そのわくわく、ドキドキする好奇心があると１回でも覚えられるのです。楽しく学べる、体験的に学べる工夫を学校も行っていきたいと思います。

６年生にとって小学校生活は残り一ヶ月足らずですが、全てのことに興味関心を持って取組み、自己肯定感を高め、共感的な人間関係を育んで欲しいと思います。また、上級生としての勇姿を下級生に見せること、自分の成長を喜びましょう。１年生から５年生は、まとめの３月を有意義に過ごし、同じく自分自身の成長を喜び、６年生への感謝の気持ちを言葉や行動で伝えて欲しいと思います。

後になりましたが、保護者、地域の皆様、いつもお世話になりありがとうございます。今月もどうぞよろしくお願いいたします。（参考文献「高校生の勉強法」池谷雄二著）

2月の教育活動より

5 年生　TV 番組制作体験

１月３１日（水）２月１日（木）に５年生が春日部市教育センターに行き、『春日部子ども放送局』というニュース番組を作ってきました。プロデューサー、カメラマン、アナウンサーなど一人一人が役割を担いました。

なわとび大会

２月１３日（火）１４日（水）１５日（木）に学年ごとになわとび大会を行いました。短縄で種目とび・時間とびと長縄で八の字とびをしました。大会に向けて、子ども達は、休み時間もなわとびの練習に励んでおり、その成果が発揮されました。

ありがとう集会

２月１４日（水）日ごろお世話になっている方々を招待して、ありがとう集会を行いました。子ども達の書いた手紙と花束を渡し、感謝の気持ちを伝えました。子ども達が安全に楽しく学校生活を送れるのも皆様のおかげです。

授業参観・懇談会

２月２１日（水）２２日（木）２８日（水）に今年度最後の授業参観・懇談会を行いました。多くの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。１年間の子ども達の成長を御覧いただけたと思います。御支援・御協力に感謝申し上げます。

学校運営協議会

２月９日（金）に今年度最後の学校運営協議会を行いました。１年間の教育活動の成果や課題を報告し、よりよい教育活動について話し合いました。

【今年度協議したこと】
・豊春小学校運営協議会会則・豊春っ子７か条
・子ども達の環境整備・登校時刻の変更
・通学班編制・学校応援団ネットワークづくり